

圏 域 名	阪神北圏域
会 議	地域医療構想調整会議 平成 29 年度 第 2 回
日 時	平成 3 0 年 2 月 1 6 日 (金) 1 4 時～1 5 時
場 所	宝塚市立病院 (宝塚市小浜 4 丁目 5 - 1)
議 長	末岡 悟 (宝塚市医師会長)
出 席 者	構成員 3 4 名 (代理出席含む)
議 事 次 第 概 要	協議事項 公的医療機関等 2025 年プランについて ～管内対象 6 医療機関からの説明及び地域からの意見聴取～ (1)各病院からの 2025 プラン報告 (2)意見聴取・意見交換
内 容	協議事項「公的医療機関 2025 年プラン」資料 1 に基づき報告 (近畿中央病院) 当病院の現地建て替え 12 月末に計画中止。方針決定後再報告する。 (伊丹市) 平成 30 年度に医療関係者、有識者からなる「市立伊丹病院のあり方に関する検討委員会」を設置。近畿中央病院と連携の在り方について共に協議することにし 2 月 14 日付け連携協定を締結。 <b>【意見聴取・質疑応答】</b> (議長) ・各病院に対する要望が 3 点。①健全な経営を目指してほしい。②各病院の申請されている病床機能(急性期、高度急性期等)に専念し、地域の病院との連携を密接、円滑に進めること。③小児科救急二次輪番病院としての役割を継続すること。 ・地域からの要望に対して各病院は異議、コメントがあるか。 (6 病院・各市代表) ・意見・異議なし。  (議長) ・がん治療について確認する。5 大がんを含めたがん治療への取組みはどうか。 (近畿中央病院) ・リニアック治療を平成 30 年 4 月に再開予定。専門的ながん診療も積極的にやっていきたい。具体はこれからである。 (市立伊丹病院) ・乳がんは常勤医師 1 名体制で年間 100 例程度対応。肝がんは内科で対応。大きな変化はない。 (宝塚市立病院) ・4 月にがんセンターを開設し西日本初の新型トモセラピー(最新放

射線治療装置)が入る。前立腺がん、乳がん、肺がん、術前の直腸・大腸がん、骨メタ等、緩和ケアを中心に実施。

(議長)

- ・川西市地域では認知症対策は先駆的な取組みがされている。今後、阪神北圏域東部における認知症疾患相談センターのような役割を担うことは考えているのか。

(市立川西病院)

- ・今後の基本構想の中で検討していきたい。

(議長)

- ・三田市内で小児・周産期医療機能が確保できていない。“ダビンチ”等、県内でも数少ない高度医療機器を導入されているがどうか。

(三田市民病院)

- ・小児科医師は常勤医2名。日直帯は救急対応しているが夜間は神戸市北区の病院と連携。
- ・ダビンチは昨年2月半ばに稼働を開始し、1年間で35症例。いずれも大きな合併症もなく順調に推移。4月からダビンチの手術適応が大幅に広がる。順次施行していくよう検討を進めているところである。35症例の患者居住地の内訳は、三田市内24例、篠山市内8例、その他3例である。

(議長)

- ・兵庫中央病院は政策的医療が大きいですが、現状はどうか。

(兵庫中央病院)

- ・政策医療に関しては三田市以外の患者が多いが、急性期病床(100床)では三田市内、篠山市、加東市等の近隣からの患者が多い。

(議長)

- ・市立伊丹病院でも不整脈、カテーテルアブレーション治療を開始し阪神北圏域でも対応可となった。阪神南圏域や近隣との役割分担や連携はどうか。

(伊丹市立病院)

- ・新しく医師を迎え、他病院に紹介したのを当院で対応(年間100症例程度)。阪神北圏域内の重症の循環器疾患を東宝塚さとう病院と当院で対応しているが、まだまだ医療需要は高い。

(議長)

- ・本日の会議で報告された各病院のプランについて異議はないか。

(会場内)

- ・異議・意見なし。

(議長)

- ・現行のプランに変更等があった場合は、速やかに本会議でのご報告、協議するようお願いする。

○その他報告事項等

(県医務課)

- ・兵庫県保健医療計画の概要及び進捗状況について報告

(川西市医師会)

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の高度急性期を担う病院が阪神南圏域に偏在、阪神北圏域においても高度急性期機能を担う病院が必要であることから、引き続き医療圏域・需要を検討して頂きたい。</li> </ul>
協議が調った事項	公的医療機関 2025 プラン（6 病院）内容は、審議終了。 （計画・報告内容に変更等あれば再報告・協議を実施）
次回以降の予定	平成 3 0 年度 6 月頃開催予定